

2022年10月8日(土) 「杉本キャンパスツアー」に参加して・・・

まずは、工学研究科教授倉方先生による「建築の見どころ」の講演をお聞きし、興味が湧いてきたところでキャンパスツアーが始まりました。昭和9年に大阪商科大学本館として建てられた、杉本キャンパスのシンボルである1号館。時計塔を中心に左右対称に伸びる校舎、正面玄関を入ると中央には大階段があるこの建物は、名門大学の証だそうです。



教室は天井が高く大きな窓からはたくさんの光が取り入れられ、少しでも快適に学べるようにとの設計者の想いを感じることができました。歴史的な教室を普通の授業で今も現役で使っていることにとっても感心しました。

同じ大学に通う子どもの保護者同士、倉方先生のお話を楽しく聞かせていただき充実した一日を過ごすことができました。子どもが通う大学を見学する機会をいただき有難うございました。(法学部保護者 小杉季恵子様)

2022年11月12日(土) 「中百舌鳥キャンパス内にある植物工場と農場見学ツアー」に参加して・・・

まずは農学部附属教育研究フィールド長の横井先生の引率でスマートグリーンハウスへ。温度や湿度、水や肥料の量がコンピューター制御され、野菜作りが誰でもどこでもできるようになっているそうです。



農場ではミカンやゆず、柿がたわわになり、畑では授業の課題野菜が栽培されていました。「都市農業」の講義では、企業が持っている未使用の土地にスマートグリーンハウスを作り、配送ルートをもつ企業の配送に寄せたり、コンテナや海上で野菜栽培ができたりとワクワクする講義内容でした。次の植物工場は、清潔感のある建物でレタスが整列、栽培され、スーパーなどに出荷されるそうです。

植物工場研究センター長の北宅先生の引率で研究棟へ、ここではただの水耕栽培ではなく、例えば鰾節を作る際のゆで汁は産業廃棄物として破棄されるのですが、ゆで汁の栄養分は栽培に使用し、破棄物を減らす取り組みを研究されているそうです。

次の「アクアポニックス」は、野菜の水耕と水産養殖を組み合わせた生物生産システムで、養殖魚の排せつ物を肥料として野菜に吸収させ、循環し、肥料や廃棄物が少なく生産ができるそうです。実際に上には野菜、下にはお魚の設備を見学させていただきました。

あっという間の半日でとても勉強になる半日でした。(理学部保護者 道本洋子様)

2023年2月18日(土) 「わがセンセの学(楽)問のススメ」に参加して・・・

「先生」と名の付く人物より「教え」を頂く機会がなくなってきた私達保護者世代にとって今回の企画は子どもたちの授業を体験出来るだけでなく、自分の中に新しい知識を取り込み教養を深めることができる画期的なものでした。



唐沢力先生からは「科学的な見方・考え方」において、物事を捉える感覚として「あるかないか」等で表される定性的なものを実際の尺度や数量で表し定量的に捉え、「ではどれほど大きいのか」等、単位や数式を用いてそのスケールを感じてみることの大切さを教えて頂きました。

地震対策、地球温暖化対策など喫緊の課題の中、私たちは一生懸命に生きていかなくてはならないのですとの先生の言葉が印象に残りました。

山東功先生の「西洋から見た近世の日本」の講義では外から眺めた日本(語)の姿を16世紀キリシタン(宗教関係者)、17～18世紀シーボルトに代表される医者や通商外交関係者、19世紀クラークに代表される外国人の目を通してどのように書物等に残されているかを勉強し、私たち日本(人)に対する沢山の酷評が描かれてあった事実を知りました。

彼らの「外からの視点」を通じて、今一度自分たちも自国の良さを考える「内からの視点」を持ちましょと教えて頂いた気がします。休憩時間の交響楽団、奇術部、応援団の学生パフォーマンスでは学生たちの生の姿を見れて嬉しかったです。

(農学部保護者 六峰美幸様)



保護者交流会だより 第2号

『教育後援会のご案内』 保護者交流委員会：委員長 今入 隆子

大阪公立大学教育後援会会員の皆さま、こんにちは。
教育後援会は、学生の皆さんに課外活動・教育環境をはじめ様々な支援を行い、充実した学生生活を過ごしていただくためのサポートを行っています。海外渡航の制限がなくなった今年度は、語学や国際交流の支援も大いに活用していただきたいと思います。



一方、保護者の方が参加して楽しんでいただける数多くの事業があり、他の大学にはない活発な活動をしております。大阪公立大学開学の昨年度は、キャンパスツアーなどの交流事業にご参加いただいた多くの会員の皆さまに、ご好評をいただきました。

今年度も5月、6月に新入生保護者懇談会、7月に保護者向けの就職説明会を開催いたしました。この交流会だよりでは、さらに大阪公立大学の魅力を満喫できる企画を、ご案内させていただいております。

コロナウィルスへの対応が大幅に緩和され、保護者同士の交流が本格的に再開できるようになりました。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

第1・2・3企画の参加申し込み方法 (事業内容は次のページ)

- お申し込み方法：申し込みフォームよりお申込みください。第2希望までお申込み可能です。
1企画につき保護者お2人まで参加できます。
※応募締切日：2023年8月30日(水)
- お申込み後、受付完了メールを自動送信いたしますので、必ずお申込み前に、PCからの一斉送信メールが受信できるように設定のご確認をお願いいたします。

QRコードから
Webにアクセス



・申し込みフォームの画面が出たら
各項目に入力、「申込み」をクリック、
画面が変わった後に、「OK」を
クリック これで申込み完了です。

- ご応募時にご記入いただきました個人情報、申込後の事務連絡、教育後援会企画行事等のご案内に使用し、その他への利用および第三者への提供・開示することはありません。
- 各企画への希望者が定員を超える場合は、抽選により参加者を決定させていただきます。参加決定通知は9月上旬頃に連絡いたします。参加決定通知後にやむを得ず欠席される場合はお早めにお知らせください。

お問合せ

教育後援会 杉本キャンパス事務所 電話 06-6605-3420
中百舌鳥キャンパス事務所 電話 072-254-9205
Mail: kouryu@omu-esa.org ホームページ <https://www.omu-esa.org/>

第1企画 水内俊雄先生と巡る杉本キャンパスツアー

何度かの統合を経て、昨年公立大学として日本最大の規模となった大阪公立大学。創立以来の本学の知られざる歴史・地理について学びます。



第一部 水内俊雄先生に、森之宮を含めた6つのキャンパスの明治以来の歴史・地理について、ヴィジュアルにわかりやすく解説していただきます。会場は杉本キャンパスのモニュメントであり、歴史を感じる一号館（登録有形文化財）の講堂です。

第二部 引き続き水内俊雄先生のご案内で、戦前戦後の歴史の名残も含め幅広いエピソードを交えながら、杉本キャンパスの各施設を散策します。

「大阪市立大学140周年記念展示室」を特別に開館しております。大阪公立大学の歴史と文化を共に紐解いてみましょう。

【日時】 2023年9月30日（土） 13時20分～16時	【スケジュール】 12：45 受付 13：20 開会・挨拶
【集合場所】 大阪公立大学杉本キャンパス1号館講堂前 大阪市住吉区杉本3-3-138 JR阪和線「杉本町駅」徒歩約5分 Osaka Metro御堂筋線「あびこ駅」徒歩約15分	13：40 講演「大阪公立大学各キャンパスの歴史・地理～ヴァーチャルツアー体験～」 講師 水内俊雄名誉教授（大阪市立大学）
【定員】 50名	14：20 休憩「大阪市立大学140周年記念展示室」見学
【参加費】 無料	14：40 「杉本キャンパスリアルツアー」スタート 16：00 閉会・解散（予定）

第2企画 海へ!空へ!中百舌鳥キャンパスツアー

中百舌鳥キャンパスで最も大きな工学分野で、今、注目される船舶海洋工学について、一緒に学んでみませんか。海空ロマン溢れる、初秋のひとときを中百舌鳥キャンパスでお過ごしください。



第一部 海洋システム工学分野 教授 片山徹先生に、船舶海洋工学について、わかりやすく解説していただきます。その後、実験用水槽を見学させていただきます。

第二部 堺・風車の会（Wind Mill Club）による鳥人間コンテスト2023の挑戦やNHK朝の連続テレビ小説「舞いあがれ！」の撮影秘話などをお話していただき、飛行機製作現場である部室を見学します。

【日時】 2023年10月14日（土） 13時30分～16時	【スケジュール】 13：00 受付
【集合場所】 大阪公立大学中百舌鳥キャンパス A11棟 堺市中区学園町1-1 南海高野線「白鷺駅」徒歩15分 南海高野線「中百舌鳥駅」徒歩20分 Osaka Metro御堂筋線「なかもず駅」徒歩20分	13：30 講演「船舶海洋工学について」 実験用水槽（船舶動揺水槽・海象水槽実験室）見学 講師 片山 徹教授（大阪公立大学海洋システム工学分野）
【定員】 50名	15：00 講演「鳥人間コンテスト2023とNHK朝ドラ『舞いあがれ!』撮影秘話」と飛行機製作部室見学
【参加費】 無料	講師 堺・風車の会（Wind Mill Club）の皆さん 16：00 閉会 解散（予定）

第3企画 大阪公立大学附属植物園散策・・・森の植物園へようこそ・・・

大阪公立大学附属植物園は大阪府内最大級の植物園であり、1950年に大阪市立大学理工学部附属の研究施設として発足し、植物学の基礎研究の対象として、多くの植物の収集と保存に努めています。

園内には、野外で生育可能な日本産樹木300種以上を植栽しており、国内の代表的な11種類の樹林型（森）を復元し、絶滅危惧植物の保全活動も行っています。

特に西日本産の絶滅危惧植物の収集に力を入れており、2018年には環境省により全国で初めて「認定希少種保全植物園」に認定されました。当園園長の大阪市立大学三木茂教授（故人）が、化石を発見し命名したメタセコイアは“生きた化石”と呼ばれています。高さ30mを超えるメタセコイアが、晩秋には黄色からレンガ色へと美しく鮮やかに色づいていく並木は見ものです。そんな彩り豊かな園内を、職員の方に案内していただきながら散策します。さあ、錦秋のワンダーランドへ出かけてみませんか？



【日時】 2023年11月23日（木・祝） 9時45分～15時	【スケジュール】 9：45 集合（9：30～受付）
【集合場所】 大阪公立大学附属植物園 大阪府交野市私市2000 京阪交野線「私市（きさいち）」駅下車徒歩6分	10：00 植物園案内 ・植物園園長講話 名波 哲教授（大阪公立大学理学部生物学科） ・植物園内見学（約90分・案内付）
【定員】 50名	13：00 昼食・自由散策 15：00 閉会・解散（予定）
【参加費】 1,000円（昼食代込み）	



保護者交流委員会・委員のご紹介



保護者交流委員会ってなに？

私たち交流委員は、今年度、新たに20名の委員を迎え、総勢47名で活動しています。保護者の皆さんは、お子さんの通っている大学がどんなところか知りたいと思っている方が多いと思います。私たちは、大学とお子さん、そして保護者の皆さんの架け橋役として、大学のことを知ってもらえるような、そして、なにより、保護者の皆さんに喜んでいただけるような交流事業を企画しました。ぜひともご参加いただき、私たち交流委員と一緒に大阪公立大学を知り、楽しんでみませんか？



杉本キャンパスツアースタッフ 2022年10月8日



中百舌鳥キャンパスツアースタッフ 2022年11月12日

2回生の交流委員に聞いてみました

- ①交流委員をやろうと思ったきっかけは？
- ②実際に1年やってみた感想は？
- ③おすすめしたい企画とその理由は？

①面白そうだし、なにより大学のことを知る機会になるのではと思った。
②PTA役員の経験がなく心配でしたが、皆さんが力を合わせ活動されているのを見て、気負わずに参加できています。企画を通じて、他学部他学年の保護者の方々と接点ができお話をすることができたことが良かった。
③どれもオススメ。子どもが通う学校の構内を見て回ることやどんな事しているのかを知るチャンスです。植物園ツアーが気に入っており、なぜ植物園があるのか、何をしているのか、早く現地に行きたいです。

①子どもの通う大学に大手を振って遊びに行きたいという気持ちから。
②実に様々な行事があり色々な役割を担うので大変ですがやりがいがあります。
③学(業)問のススメ…学ぶ機会のない私達世代にとってこういう企画は自分の活性化に繋がるし脳トレにもなります。

①1回生の時、保護者懇談会で交流委員会への参加を呼びかけられ、学校のこともわかるし、楽しそうだなあと思いました。
②他の学部の方とも情報が交換できましたし、学校にも出入りでき、子供たちの環境が身近に手に取るように感じられたことが良かった。
③キャンパスツアーです。昨年参加しましたが、校舎に刻まれた大学の歴史等も知ることができ、とても充実した時間を過ごせました。

①子どもが全くといっていいほど話さないで、少しでも様子を知りたいと思ったことと、コロナ禍で高校時代、ほぼ保護者活動がなかったため。
②ちょこちょこ学校に行く機会があり、学生時代に戻った気分になれ、先生方のお話や学生の活躍ぶりを見聞きすることが出来、保護者の方ともお話しさせてもらって親の私も楽しく過ごさせていただいています。
③子どもが杉本キャンパスに通っており、杉本キャンパスツアーです。昨年度は建築的にも価値の高い1号館を中心に専門家の先生の解説でとても興味深かった。恵まれた環境で子どもが学べ、感謝の気持ちで一杯です。

①大学に行く機会もあまり無いだろうし子どもの勉強している大学と繋がりたい。公立大学をもっと知りたい。友達も作り、横のつながりも増やしたかった。
②1年が経過しお友達も出来て、子どもが通う学部だけではなく、他学部の事も知る事が出来ました。大学へも何回か足を運び施設の事や様々な事を知る事が出来ました。
③キャンパスツアーです。私は中百舌鳥キャンパスの方しか担当していませんが私自身も勉強になりました。